

研究指導の概要

■世界遺産学学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	○新入生オリエンテーション：博士論文執筆にかかるスケジュールや研究方法（文献調査・現地調査・ヒアリング調査等）に関して学ぶ。
		B	○指導教員・所属研究室の決定
		C	○研究テーマの検討：指導教員とのディスカッションやゼミにおける各自の研究構想の発表への指導・助言を通じて研究テーマを検討する。 ◇関連授業科目（「世界遺産を科学する」等）の受講
	秋	A	
		B	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよび所属研究室のゼミにおける研究発表や質疑応答を通じて、各研究テーマに基づく研究に取り組む。 ◇関連授業科目の受講
		C	
2 年 次	春	A	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよび所属研究室のゼミにおける研究発表や質疑応答を通じて、各研究テーマに基づく研究を進展する。特に2年次においては、博士論文提出の必要条件である査読論文のテーマを明確にし、その執筆と提出にも精力的に取り組むものとする。
		B	○博士論文ガイダンス（5月中旬）：博士論文の提出・審査にかかる提出書類や評価基準・評価項目、スケジュールについて学ぶ。
		C	◇関連授業科目の受講
	秋	A	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよびゼミにおける研究発表や指導に基づき、各研究テーマに基づく研究を進展する。特に2年次においては、博士論文提出の必要条件である査読論文のテーマを明確にし、その執筆と提出にも精力的に取り組むものとする。
		B	○博士論文中間発表（10月中旬）：指導教員以外の学位プログラムの教員からの評価や助言を得る機会とし、より専門的かつ学際的な研究内容に改善するよう努める。
		C	◇関連授業科目の受講

3 年 次	春	A	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよびゼミにおける研究発表や指導に基づき研究を進め、予備審査に必要な論文執筆を進める。また、論文提出の必要条件である査読論文の執筆と提出を確実に実施する。
		B	○博士論文ガイダンス（5月中旬）：博士論文の提出・審査にかかる提出書類や評価基準・評価項目、スケジュールについて確認する。
		C	◆予備審査受付・予備審査論文の提出（5月後半） ◆予備審査（1回以上）（6~9月中） ◆予備審査可否の通知（例年は9月後半まで） ◆コンピテンス達成度の確認
	秋	A	○予備審査における指摘事項に基づき、必要とされる調査や分析・考察に取り組み、論文執筆を進める。
		B	◆学位論文審査受付・学位論文の提出（11月前半） ◆学位論文審査委員会（11月末~1月中旬、1回以上）
		C	◆公開審査会（1月後半） ◆学位論文審査・最終試験結果の報告

○研究指導 ◇授業 ◆論文審査関係